

令和5年度 年間授業計画

東京都立足立西高等学校

科目	現代文B	2単位	教科担当 者
対象	第3学年		
教科書	新編現代文B (東京書籍)		
副教材	学習課題ノート(東京書籍)		

目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・様々な文章を読み、言語文化に対する理解を深めつつ、論理的思考力を身に付ける。</li> <li>・近現代の文学作品を読み、描かれた人物・情景・心情などを理解しつつ、国語力を養う。</li> </ul>
----	--

学期	月	時間	単元	内容	具体的な指導目標
1 学 期	4	26	評論	『最初のペンギン』 茂木健一郎	構成や展開の仕方を把握しながら読む。
	5		小説	『カンガルー日和』 村上春樹	小説らしい独創的な文体を味わい、心理の変化を捉えながら読む。
	6		評論	『もう一つの知性』 姜尚中	比喩の手法を用いた評論を読んで、筆者の主張を的確にとらえる。
	7		小説	『鞆』 安部公房	独特な表現について読解し、想像力や発想力を養う。
2 学 期	9	28	小説	『山月記』 中島敦	時代背景や他国の文化を理解しながら前半部分を読解する。
	10		小説	『山月記』 中島敦	登場人物の性格・心理の描写を読み取り、自己の考え方や感じ方と比較する。
	11		評論	『ホンモノのおカネの作り方』 岩井克人	社会に対するものの見方、感じ方、考え方を読み取り、自分の考えを深める。
	12		詩歌	春雷【俳句】	韻、季節感、イメージを味わい、作者の心情を読み取る。
3 学 期	1	16	小説	『葉桜と魔笛』 太宰治	登場人物のおかれた状況と時代背景を把握しながら読解する。
	2		詩歌	『永訣の朝』 宮沢賢治	全体的な文体の美しさを味わい、命について考える。
	3				

評価	<p>観点 (評価方法)</p> <p>定期考査、提出物、小テスト、授業態度、出席等を総合的し、評価する。</p>
----	---

令和5年度 年間授業計画

東京都立足立西高等学校

科目	国語総合演習（必修選択）	2単位	教科担当者
対象	第3学年 必修選択者		
教科書	国語必携 パーフェクト演習 三訂版(尚文出版) 錬成 現代文〈大学入学共通テスト対策版〉(尚文出版)		
副教材	なし		

目標	国語の総合力（語彙力・読解力・文学史の知識等）の養成
----	----------------------------

学期	月	時間	単元	内容	具体的な指導目標
1 学 期	4	26	評論 基礎編	「日本語の外へ」 国語常識総合問題	指示内容に注意して読解する。
	5		随想 基礎編	「詩集とは何か」 国語常識総合問題	筆者の体験・考えを読解する。
	6		小説 基礎編	「あすなる物語」 国語常識総合問題	描写の視点について注意して読解する。
	7		評論 基礎編	「日曜日の読書」 国語常識総合問題	具体的な記述に注意して読解する。
2 学 期	9	28	随想 発展編	「失われた「道」の豊かさ」 国語常識総合問題	筆者の思いを読解する。
	10		小説 発展編	「花影の花」 国語常識総合問題	象徴的な描写に注意して読解する。
	11		評論 発展編	「都市の感情」 国語常識総合問題	問題提起と結論に注意して読解する。
	12		評論 発展編	「デザインの教科書」 国語常識総合問題	強調や疑問の表現に注意して読解する。
3 学 期	1	16	評論 実践編	「「野生」の哲学」 国語常識総合問題	引用の意図に注意して読解する。
	2		小説 実践編	「青桐」 国語常識総合問題	風景描写と人物の関係に注意して読解する。
	3				

評価	(観点・方法) 国語常識の諸領域に渡って基礎的な理解ができたか、考える姿勢や読解力が身についたかを、小テストや提出物等により、総合的に評価する。
----	---

令和5年度 年間授業計画

東京都立足立西高等学校

科目	実践国語（自由選択）	2単位	教科担当者
対象	第3学年 選択者		
教科書	現代評論12(桐原書店) コンセプト24最新評論セミナー(浜島書店)		
副教材	なし		

目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・様々な文章を読み、国語を適切に表現し的確に理解する能力を育成し、伝え合う力を高める。</li> <li>・思考力や想像力を伸ばし、心情を豊かにし、言語感覚を磨き、その向上を図る態度を育てる。</li> </ul>
----	--

学期	月	時間	単元	内容	具体的な指導目標
1 学 期	4	26	自分／社会／個人	「個人」から「分人」へ	筆者の考え方や主張を適切にとらえ、自己と他者の多様性について考える。
	5		機械／モダニズム／建築	「流れ、自立する建築」	西欧と日本の文化の違いを「建築」という観点で把握し、自国についてより深く考える。
	6		言語／文化／認識	「言語が作る境界線」	文化人類学的な相違について学び、それが考え方にも影響することを把握する。
	7		文学／「羅生門」論	「下人の青春」	一つの小説に対し、様々な解釈や背景が存在することを学び、小説の読み方の幅を広げる。
2 学 期	9	28	生物／環境／認識	「環世界」	筆者の見解に対し、それを補助する根拠や具体的な話題を論理的に読み取る。
	10		社会／共同体／未来	「震災後の新しい価値共有」	震災を通し、今後の日本のあり方を筆者がどう提示するかを段階的に読み取る。
	11		科学／人間	「科学者とあたま」	戦前の文章の内容をまず適切に読み取り、現代にも通用する着眼点を理解する。
	12		他者／視線／欲望	「羞恥心をめぐって」	筆者の多角的なものとのとらえ方を読み取り、哲学的な思考に触れる。
3 学 期	1	16	貨幣／マルクス／社会	「貨幣の虚構性」	指示表現を適切にとらえ、叙述の内容が深まっていくことを理解しながら読解する。
	2		言語／表現	「レトリックと認識」	具体例の効果的な使い方に着目し、筆者の見解を様々な立場から理解する。
	3				

評価	<p>観点（評価方法）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 関心・意欲：学習内容に関心を持ち、意欲的に取り組む（発言・態度・発表・作品等）</li> <li>・ 技能：「話す・聞く」「読む」「書く」（発表、作品、小テスト、学習課題プリントなど）</li> <li>・ 知識・理解：語彙、文法に関わる知識（小テスト・学習課題プリントなど）</li> </ul>
----	--

令和5年度 年間授業計画

東京都立足立西高等学校

科目	世界史B（自由選択）	2単位	教科担当 者
対象	第3学年 選択者		
教科書	高校世界史（山川出版社）		
副教材	世界史学習のための各国別 書き込み年表&地図（山川出版社）		

目標	世界史に関する興味関心を高めるとともに、総合的な知識向上をはかり、主体的に考える力を養う。問題演習を行い、受験に対応できる力をつける。
----	---

学期	月	時間	単元	内容	具体的な指導目標
1 学 期	4	26	西アジア世界と地中海世界	オリエント文明、ギリシアのポリス社会、ローマ帝国	授業の受け方や予習の仕方を習慣づける
	5		東アジア世界	中国古代帝国、胡漢融合帝国	中国王朝の特徴（政治、文化、経済）を理解する
	6		イスラームの広がり	各地のイスラーム国家	イスラーム国家の広がりとは各イスラーム王朝の特徴を理解する
	7		ヨーロッパ世界の展開	ビザンツ帝国、封建社会の発展	封建社会の成立とその崩壊をカトリック教会の動きと関連させて理解する
2 学 期	9	28	近世ヨーロッパと大航海時代、市民革命	大航海時代、ルネサンス、宗教改革、環太平洋革命	近代国家への歩みを各国の諸革命、改革を通して学ぶ
	10		近代ヨーロッパ、アメリカの国民国家	ウィーン体制と1848年の革命	ウィーン体制の揺らぎ、「諸国民の春」と呼ばれる状況を理解する
	11		帝国主義と世界諸地域の抵抗	欧米の帝国主義と民族運動	帝国主義の広がりとは、それに対する諸民族の抵抗運動を理解する
	12		二つの世界大戦	第一次世界大戦、第二次世界大戦	日本の歴史とも関連させ、二つの大戦を理解する
3 学 期	1	16	戦後世界史	冷戦から多極的国際社会へ	米ソの対立を軸に各地域で起こった戦争について理解する
	2		まとめと復習		
	3				

評価	（観点・方法） 小テスト、授業レジュメ、プレゼンテーション等により総合的に判断する。
----	---

令和5年度 年間授業計画

東京都立足立西高等学校

科目	日本史A	2単位	教科担当者
対象	第3学年		
教科書	「高等学校日本史A 新訂版」(清水書院)		
副教材	なし		

目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今までの歴史知識を生かしながら、「日本の近現代の歴史」をさらに深く考察し、日本の民主国家の成立過程を考えていく。</li> <li>・「日本の歴史」の大きな流れを理解すると共に、日本文化の変遷と発展を理解する。</li> </ul>
----	--

学期	月	時間	単元	内容	具体的な指導目標
1 学 期	4	26	○国際関係の変化と幕藩体制の動揺	○19世紀の世界とアジア ○幕藩体制(幕政改革)	・欧米諸国のアジア進出に着目し、幕藩体制動揺期の内外の情勢について考察する。
	5		○明治維新と近代国家の形成	○ペリー来航・日米和親条約 ○日米修好通商条約・安政の大獄 ○尊王攘夷 ○江戸幕府滅亡 ○明治新政府成立 ○地租改正・殖産興業 ○文明開化 ○明治外交	・近代日本が形成された過程を、国際環境と関連付けて考察する
	6		○立憲政体の成立と国際的地位の向上	○自由民権運動 ○大日本帝国憲法 ○初期議会・条約改正 ○日清戦争 ○日英同盟 ○日露戦争 ○満州・樺太 ○韓国併合 ○明治文化	・国際環境や政党政治の推移について考察する。 ・近代産業の発展と国民生活の変化について考察する。
	7				
2 学 期	9	28	○第一次世界大戦と日本	○護憲運動・大正デモクラシー ○第一次世界大戦 ○米騒動 ○ヴェルサイユ体制 ○国際連盟・ワシントン体制 ○政党内閣 ○大正文化	・第一次護憲運動からの政党政治の推移・近代産業の発展・大衆文化の形成が国民にもたらした影響を考察する。 ・第一次世界大戦が我が国の外交政策や経済発展に与えた影響を考察する。
	10				
	11		○第二次世界大戦と日本	○世界恐慌・昭和恐慌 ○満州事変 ○二・二六事件・日中戦争 ○第二次世界大戦 ○アジア太平洋戦争(太平洋戦争) ○日本の敗戦	・国際社会の動向に着目し、戦時体制の強化など、第二次世界大戦と日本のかかわりについて考察する。
	12				
3 学 期	1	16	○戦後政治の動向と国際社会	○日本国憲法 ○戦後の国際情勢と国民生活	・我が国の再出発及びその後の政治や対外関係の推移・国民生活について考察する。
	2		○経済の発展と国民生活	○高度経済成長 ○経済大国	・日本経済の発展と国民生活の変化について考察する。
	3		○現代の日本と世界	○冷戦の終結 ○「昭和」の終わり ○こんにちの世界と日本の課題	・現代の日本の課題と役割について認識する。

評価	<p>(観点・方法)</p> <p>定期考査を基本に、プリント類の提出や、授業への取り組み等を含め総合的に判断する。</p>
----	--

令和5年度 年間授業計画

東京都立足立西高等学校

科目	日本史B	4単位	教科担当者
対象	第3学年（必修選択）		
教科書	高校日本史B 新訂版（山川出版社）		
副教材	なし		

目標	1. 日本の基本的な通史を事実に基づき把握し、歴史構造とその変化の過程を理解する。 2. 歴史を現代の課題と関連して主体的に学び、歴史的思考力を養う。 3. 日本の歴史を世界の動きと関連して把握し、国際社会に生きる日本人の自覚と資質を養う。
----	--

学期	月	時間	単元	内容	具体的な指導目標
1 学期	4	52	第1～3章 原始・古代 第4章 武家社会の形成	原始から武士の発生までもを概観する。	原始社会や古代国家の成立と変質について理解する。
	5		第5章 武家社会の成長	鎌倉幕府誕生から室町幕府誕生までを概観する。	幕府成立の過程について、社会の動向に着目し、理解する。
	6		第6章 幕藩体制の成立	戦国期の混乱から、織豊政権を経て江戸幕府成立までの過程を概観する。	戦国期の混乱から、日本の統一のかけたの動きを時系列で理解する。
	7		第7章 幕藩体制の展開	江戸時代中期の三大改革と社会の変容を概観する。	近世国家の推移について、社会・文化の特色に着目し、理解する。
2 学期	9	56	第8章 幕藩体制の動揺	江戸幕府の展開と幕末期を概観する。	幕府滅亡の過程について、世界の動向と関連付けて、理解する。
	10		第9章 近代国家の成立	明治維新から、日本における産業革命の開始までを概観する。	近代国家の形成過程について、社会・文化の特色、国際環境に着目し、理解する。
	11		第9章 近代国家の成立 第10章 二つの世界大戦とアジア	大正時代から昭和初期にかけて、政治史を中心に概観する。	第一次世界大戦から第二次世界大戦に至る経緯について、国際環境の変化に注目し、理解する。
	12		第10章 二つの世界大戦とアジア	軍部の台頭から太平洋戦争の敗戦までを概観する。	開戦から終戦までの経緯について、国民生活や国際情勢を踏まえて理解する。
3 学期	1	32	第11章 現代の世界と日本	日本の戦後の重要テーマを取り上げる。	民主的国家としての再生やその後の経済的発展について、国際環境と関連付けて理解する。
	2		第11章 現代の世界と日本	日本の戦後の重要テーマを取り上げる。	現代の日本の課題と役割について、国際的な立場に着目し、理解する。
	3		まとめ	1年間のまとめ	1年間を振り返り、現代日本の成り立ちについて、考察する。

評価	（観点・方法） 定期考査を基本に、プリント類の提出や、授業への取り組み等を含め総合的に判断する。
----	---

# 令和5年度 年間授業計画

東京都立足立西高等学校

科目	政治・経済（必修選択）	2単位	教科担当者
対象	第3学年 必修選択者		
教科書	最新 政治・経済 新訂版（実教出版）		
副教材	なし		

目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>政治と経済のしくみを学び、民主主義を担う市民としての資質を育む。</li> <li>自らの進路選択を踏まえ、一般常識問題や入試問題に対応できる学力をつける。</li> </ul>
----	--

学期	月	時間	単元	内容	具体的な指導目標
1 学 期	4	26	民主政治の基本原理 現代の国際政治	2年次の復習、民主政治の原理、ロシア・ウクライナ問題	民主政治の成り立ちやしくみ等を意欲的に追究できる
	5		現代の国際政治	国際社会の特質、国際法、国際社会の変化	国際政治のしくみに関する知識を身に付けている
	6		〃	国際連合、冷戦と軍縮、問題演習	現在の国際社会がどのように形作られたかを理解できる
	7		現代の経済社会	経済とは何か 資本主義と社会主義	経済体制の特色と課題、市場の役割について理解できる
2 学 期	9	28	現代の経済社会	市場の役割と限界 現代の企業	企業の在り方等について基本的な知識を身に付けている
	10		〃	政府の役割 租税・財政	政府の経済的な役割や、財政の状況を理解できる
	11		現代の日本経済と福祉の向上	日本経済の歴史・課題 雇用と労働、社会保障	戦後の日本経済のあゆみを意欲的に追究している
	12		現代の国際経済	貿易、国際収支、外国為替、地域統合の動向	国際経済のしくみに関する知識を身に付けている
3 学 期	1	16	現代社会の諸課題	人口・食料問題、感染症問題、地域紛争、経済格差、SDGs などから選択	現代社会が抱える様々な諸問題を考察できる
	2		学年末のまとめ	時事問題	資料を活用し、現代社会の諸課題を政治経済の視点から意欲的に分析・探究できる
	3				

評価	<p>（観点・方法）</p> <p>中間・期末考査、ミニテスト、提出物、発言等により総合的に評価を行う</p>
----	---

令和5年度 年間授業計画

東京都立足立西高等学校

科目	数学Ⅲ	8(含む自選4単位)単位	教科担当者
対象	第3学年 必修選択者【自由選択科目(自選)の数学Ⅲも同時履修】		
教科書	改訂版 新編 数学Ⅲ (数研出版)		
副教材	改訂版 3 TRIAL 数学Ⅲ (数研出版)		

目標	平面上の曲線と複素数平面, 極限, 微分法及び積分法についての理解を深め, 知識の習得と技能の習熟を図り, 事象を数学的に考察し表現する能力を伸ばすとともに, それらを積極的に活用する態度を育てる。 発展的な問題や大学入試問題等の演習を通して, 構想を立て, 見通しをもって課題解決に取り組む力を育てる。
----	---

学期	月	時間	単元	内容	具体的な指導目標
1 学 期	4	104	複素数平面	複素平面 複素平面の極形式 ド・モアブルの定理 複素数と図形	複素数の図形的意味を理解し活用することができるにし、ド・モアブルの定理等の重要定理の利用方法を定着させる。
	5		2次曲線 関数	放物線 楕円 双曲線 分数関数 無理関数 逆関数	2次曲線、分数関数・無理関数や逆関数の性質を理解する。
	6		数列・関数の極限	数列の極限 無限等比数列 無限級数関数の極限 関数の連続性	極限の概念を理解し、その性質を利用できるようにする。
	7		微分・積分	関数の導関数の求め方 関数の増減の利用 微分を利用した問題演習 積分計算の方法	様々な関数の微分方法を学び、それを利用した問題の解法を定着させる。 積分計算の方法を定着させる。
2 学 期	9	112	積分	面積や体積の求め方	積分の計算を利用した面積・体積の求め方を定着させる。
	10		微分・積分の応用	融合問題演習	特定の問題ではなく、様々な数学的知識を使用する問題の特徴を捉え、解法の構想を学ぶ。
	11		入試問題演習	大学一般入試問題演習	入試問題の演習を行い、解答の作成方法や問題の解き方を定着させる。
	12		入試問題演習	大学一般入試問題演習	入試問題の演習を行い、時間配分や部分点がもらえる答案作成の方法を学ぶ。
3 学 期	1	64	志望校入試問題演習	志望校入試問題演習	志望校の入試問題の演習を行い、合格に結び付く実力を身に付ける。
	2				
	3				

評価	(観点・方法) 授業への取組状況や小テスト、レポート、定期考査等を総合的に評価する。
----	---



令和5年度 年間授業計画

東京都立足立西高等学校

科目	数学演習（必修選択）	4単位	教科担当者
対象	第3学年 必修選択者		
教科書	改訂版 新編 数学Ⅰ・Ⅱ・A・B（数研出版）		
副教材	アーチⅠ・A・Ⅱ・B 基礎編（数研出版）		

目標	理系大学進学者に対して、一般受験問題に対応できる学力を獲得させる。
----	-----------------------------------

学期	月	時間	単元	内容	留意点
1 学 期	4	52	CHECK・A	数学Ⅰ	忘れてしまっているような基本事項をノートにまとめ、記憶に残りやすくする。
	5		CHECK・A	数学A	テキストの問題を解説し、用意した別の大学入試問題を解かせて理解を定着させる。
	6		CHECK・A	数列Ⅱ	別解も多く紹介し、問題を多角的に考える習慣を付けさせる。
	7		CHECK・A	数学B	別解も多く紹介し、問題を多角的に考える習慣を付けさせる。
2 学 期	9	56	B	数学Ⅰ	テスト形式で授業を行い、解説時に使用した基本事項をまとめて板書する。
	10		B	数学A	グラフを書く際に色チョークを使用して視覚的に理解しやすい板書を心がける。
	11		B	数学Ⅱ	マークシート問題に有効なテクニックも紹介する。
	12		B	数学B	2学期学習した内容で、異なる同レベルの入試問題を解かせ、理解をより確かなものにする。
3 学 期	1	32	総復習	問題研究	別途用意した応用問題に対処できるように総復習する。
	2		総復習	問題研究	別途用意した応用問題に対処できるように総復習する。
	3		総復習	問題研究	別途用意した応用問題に対処できるように総復習する。

評価	（観点・方法） 定期考査の得点を基準に、問題集の提出状況や授業態度等を加味して総合的に評価する。
----	---

令和5年度 年間授業計画

東京都立足立西高等学校

科目	数学基礎演習（自由選択）	2単位	教科担当者
対象	第3学年 自由選択者		
教科書	改訂版 新編 数学 I（数研出版）		
副教材	Study-Up ノート数学 I（数研出版）		

目標	教科書の補充問題や、問題集の応用を演習し、一般受験問題に対応できる基礎学力を獲得させる。
----	--

学期	月	時間	単元	内容	留意点
1 学 期	4	26	数と式	多項式の演算	忘れてしまっているような基本事項をノートにまとめ、記憶に残りやすくする。
	5		数と式	因数分解、実数根号の含む計算	テキストの問題を解説し、用意した別の大学入試問題を解かせて理解を定着させる。
	6		数と式 集合と論証	1次不等式 命題と条件、論証	別解も多く紹介し、問題を多角的に考える習慣を付けさせる。
	7		2次関数	2次関数とグラフ	別解も多く紹介し、問題を多角的に考える習慣を付けさせる。
2 学 期	9	28	2次関数	2次方程式 2次不等式	テスト形式で授業を行い、解説時に使用した基本事項をまとめて板書する。
	10		図形と計量	三角比と拡張	グラフを書く際に色チョークを使用して視覚的に理解しやすい板書を心がける。
	11		図形と計量	三角形への応用	グラフを書く際に色チョークを使用して視覚的に理解しやすい板書を心がける。
	12		データの分析	データの散らばり データの相関	グラフを書く際に色チョークを使用して視覚的に理解しやすい板書を心がける。
3 学 期	1	16	総復習	問題研究	別途用意した応用問題に対処できるように総復習する。
	2		総復習	問題研究	別途用意した応用問題に対処できるように総復習する。
	3		総復習	問題研究	別途用意した応用問題に対処できるように総復習する。

評価	(観点・方法) 定期考査の得点を基準に、問題集の提出状況や授業態度等を加味して総合的に評価する。
----	---

科目	物理	4単位	教科担当 者
対象	第3学年 物理選択者【自由選択科目(自選)の物理も同時履修】		
教科書	物理 改訂版(啓林館)		
副教材	ステップアップノート 物理 改訂版(啓林館)		

目標	授業を通して身の回りの自然現象が、物理学の法則に従っていることを理解させる。 実験・観察により自然科学への関心、探究心を養う。
----	--

学期	月	時間	単元	内容	具体的な指導目標
1 学 期	4	52	物体の運動 剛体のつり合い	変位・速度・加速度 水平投射・斜方投射 力のモーメント	ベクトルとして扱うことを理解する
	5		運動量と力積	運動量 反発係数	運動量という新しい概念を理解する
	6		円運動と単振動 万有引力	円運動 単振動 万有引力	動摩擦力との違いを明確にする。
	7		気体分子の運動	ボイル・シャルルの法則 状態方程式 気体分子運動論 熱力学第一法則 気体の状態変化	ミクロな運動とマクロな状態の結びつきを理解する。
2 学 期	9	56	電界と電位 電流	電荷・電界・電位 コンデンサー・電流 キルヒホッフの法則	電気・電界のふるまい・特性を学習する
	10		電流と磁界	磁気力・磁界 電流が作る磁界 ローレンツ力	磁界のふるまい・特性を学習する
	11		電磁誘導と電磁波 波の性質	電磁誘導・交流 正弦波 干渉・回折・反射・屈折 ホイヘンスの原理	波という現象はシンプルだが重要であることを理解する
	12		音、光	ドップラー効果 レンズと球面鏡 光の干渉	ドップラー効果を導出から学ぶ
3 学 期	1	32	電子と光 原子・原子核・素粒子	電気素量の測定 光の波動と粒子の二重性 原子モデル	現代物理学に触れながら、ミクロなものを見方を養う
	2		個別学習	進路に向けた学習	個人の課題解決に重点を置く
	3		個別学習	進路に向けた学習	個人の課題解決に重点を置く

評価	(観点・方法) 実験、提出物、課題、授業態度、定期考査などを総合して評価する
----	---

令和5年度 年間授業計画

東京都立足立西高等学校

科目	化学	2単位	教科担当者
対象	第3学年（必修選択の化学選択者）		
教科書	改訂 新編化学（東京書籍）		
副教材	ニューサポート 改訂 新編化学（東京書籍）		

目標	化学的現象に興味・関心をもって、自ら考え、理解できる科学的思考力を養う。 看護・栄養などへの進学を踏まえ、問題演習を通して応用力を身につける。
----	--

学期	月	時間	単元	内容	具体的な指導目標
1 学 期	4	26	有機化合物	脂肪族の有機化合物	有機化合物の特徴と分析を理解する。また、アルコール類の特徴と性質を理解する。
	5		有機化合物	脂肪族の有機化合物 芳香族の有機化合物	アルデヒドや油脂などの特徴と性質を理解する。また、芳香族の特徴、性質を理解する。
	6		有機化合物	芳香族の有機化合物	芳香族化合物の特徴、性質を体系的に理解する。
	7		高分子化合物	天然高分子化合物	天然高分子化合物の特徴、性質を理解する。
2 学 期	9	28	高分子化合物	合成高分子化合物	合成高分子化合物の特徴、性質を理解する。
	10		無機化合物	周期表 非金属元素	非金属元素の特徴、反応、反応生成物を体系的に理解する
	11		無機化合物	典型金属元素 遷移元素	典型金属元素と遷移元素の特徴、反応、反応生成物を体系的に理解する
	12	無機化合物	遷移元素	遷移元素の特徴、反応、反応生成物を体系的に理解する	
3 学 期	1	16	まとめ	進路に応じた問題演習	進路に応じた問題演習に取り組む
	2				
	3				

評価	(観点・方法) レポート、ノート等の提出物・定期考査などをもとに、総合的に評価する。
----	---

科目	生物	2単位	教科担当者
対象	第3学年（必修選択の生物選択者）		
教科書	生物（数研出版）		
副教材	リード light ノート生物 スクエア最新図説生物 neo 八訂版(第一学習社)		

目標	さまざまな生命現象に関する学習を通し、生物に対する理解を深める。 また、演習を通して各進路に応じて受験対策を行う。
----	--

学期	月	時間	単元	内容	具体的な指導目標
1 学 期	4	26	生物群集と生態系	・ 個体群	個体群や生物群集について、それぞれの特徴を学習する。その際、生物群集はさまざまな個体群の集まりによって構成されており、それぞれの個体群は、生態系内で特定の役割を果たしていることを理解させる。
	5		生物群集と生態系	・ 個体群内の個体間の関係 ・ 異種個体群間の関係	
	6		生物群集と生態系	・ 生物群集 ・ 生態系における物質生産 ・ 生態系と生物多様性	
	7		生物の系統	・ 生物の分類と系統 ・ 原核生物 ・ 原生生物	
2 学 期	9	28	生物の系統	・ 植物 ・ 動物 ・ 菌類	生物の種類は多様であるが、それらが系統によって分類できることを理解させる。その際、形態的な特徴にもとづいた分類ばかりでなく、近年では、DNA の塩基配列やタンパク質のアミノ酸配列といった分子データにもとづいて系統関係が調べられていることについても扱う。個々の分類群については、その概要を学習する。
	10		受験対策演習	・ 全範囲の内容	
	11		受験対策演習	・ 全範囲の内容	
	12		受験対策演習	・ 全範囲の内容	
3 学 期	1	16	受験対策演習	・ 全範囲の内容	進路に応じ、過去問や難易度別の添削等を行う。
	2		受験対策演習	・ 全範囲の内容	
	3		受験対策演習	・ 全範囲の内容	

評価	(観点・方法) 定期考査, 提出物 (レポート, ワーク, 演習問題等), 授業への参加状況をもとに総合的に判断する。
----	--

令和5年度 年間授業計画

東京都立足立西高等学校

科目	必修 体育	2単位	教科担当者
対象	第3学年 男女		
教科書	大修館書店 現代高等保健体育		
副教材			

目標	運動技能の基礎・基本の実践と健康の保持増進及び体力の向上をはかる。
----	-----------------------------------

学期	月	時間	単元	内 容	具体的な指導目標
1 学 期	4	26	リエンテーション・体づくり 運動	種目分け	種目別学習のねらいを理解させる。
	5		種目選択班別学習	グループを組んで種目ごとに 分かれて自主的に練習をする。 計画をしっかりと立てさせる。	勝敗を競い合う楽しみを経験させる。
	6		水泳	個人メドレー	スタート台を使ったスタートは 行わせない。
	7		水泳	個人メドレー	スタート台を使ったスタートは 行わせない。
2 学 期	9	28	水泳	個人メドレー	スタート台を使ったスタートは 行わせない。
	10		体育理論・種目選択班 別学習	グループを組んで種目ごとに 分かれて自主的に練習をする。	計画をしっかりと立てさせる。
	11		種目選択班別学習	グループを組んで種目ごとに 分かれて自主的に練習をする。	計画をしっかりと立てさせる。
	12		種目選択班別学習	グループを組んで種目ごとに 分かれて自主的に練習をする。	計画をしっかりと立てさせる。
3 学 期	1	16	種目選択班別学習	グループを組んで種目ごとに 分かれて自主的に練習をする。	計画をしっかりと立てさせる。
	2		体育理論・種目選択班 別学習	グループを組んで種目ごとに 分かれて自主的に練習をする。	計画をしっかりと立てさせる。
	3		種目選択班別学習	グループを組んで種目ごとに 分かれて自主的に練習をする。	計画をしっかりと立てさせる。

評価	各単元でのテスト、関心・意欲・態度 出欠・見学 ※水泳の補講は必ず受ける必要があります。
----	---

令和5年度 年間授業計画

東京都立足立西高等学校

科目	芸術・音楽Ⅲ（自由選択）	2単位	教科担当者
対象	第3学年		
教科書	Joy of Music（教育芸術社）		
副教材	なし		

目標	音楽の諸活動を通して、個性豊かな表現の能力を伸ばし、鑑賞の能力を高めると共に、音楽に対する豊かな感性と音楽を愛好する心情を養う。
----	--

学期	月	時間	単元	内容	具体的な指導目標
1 学 期	4	26	伝統音楽	箏曲	琴の基本、譜の読み方などを知る
	5		伝統音楽	箏曲	基礎個人練習を重ねる
	6		伝統音楽	箏曲合奏	奏法を知った上で合奏をする
	7		発表	発表に向けて曲の練習に各々取り組む	琴の演奏することの難しさと音色の美しさを知る
2 学 期	9	28	器楽	器楽演習	楽器の仕組みを知る
	10		器楽	器楽演習	楽曲に取り組む
	11		器楽	器楽演習	楽曲に取り組む
	12		器楽	発表会	人前で演奏する難しさや楽しさを味わう
3 学 期	1	16	鑑賞	ミュージカルについて	ミュージカルの知識を得てストーリーを理解してから鑑賞する
	2		個別学習	進路に向けての個別学習	個人練習に重点をおく
	3		個別学習	進路に向けての個別学習	個人学習に重点をおく

評価	（観点・方法）実技教科のため、普段の取り組みへの授業態度も平常点として加点する。 歌唱や器楽など実技テストを行う。
----	--

令和5年度 年間授業計画

東京都立足立西高等学校

科 目	コミュニケーション英語Ⅲ	4 単位	教科 担 当 者
対 象	第3学年		
教科書	All Aboard! Ⅲ (東京書籍)		
副教材	All Aboard! Ⅲ ワークブック(東京書籍)・Fast Reading Middle stage Target 1400・Harmony Grammar 23・Harmony Grammar WORKBOOK		

目 標	外国語を通じて、言語や文化に対する理解を深め、情報や考えを的確に理解する能力を伸ばすとともに、この能力を活用して積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育てる。
-----	---

学期	月	時間	単 元	内 容	具体的な指導目標
1 学 期	4	52	Lesson 1	Mystery Circles under the sea	動詞の現在形 過去形
	5		Lesson 2	Gifts to Barcelona	現在完了形の受動態
	6		Lesson 3	Images of coins	不定詞 動名詞
	7		Lesson 4	Witnesses of war	不定詞 受動態
2 学 期	9	56	Lesson 5	Love letters	関係代名詞
	10		Lesson 6	The natural Treasures of Ogasawara	仮定法過去
	11		Lesson 7	The Terracotta Warriors	関係代名詞
	12		Lesson 8	The Journey of Our Clothes	後置修飾の分詞
3 学 期	1	32	Lesson 10	The Story of Ruby Bridges	分詞構文
	2				
	3				

評 価	(観点・方法) 定期考査の得点と平常点 (ノート等の提出物、課題、小テスト、授業態度等) による。
-----	--



令和5年度 年間授業計画

東京都立足立西高等学校

科目	自由選択 総合英語（上級）	2単位	教科担当者
対象	第3学年 選択者		
準教科書	SWITCH 3 (BUN-EIDO) / NEXT STAGE (桐原書店)		
副教材	なし		

目標	英語を読み解く力を身に着けるとともに、言語や文化に対する理解を深め、情報や考えなどを理解したり伝えたりする能力を養う。
----	---

学期	月	時間	単元	内容	具体的な指導目標
1 学 期	4	30	Unit 1 Unit 2	キャッシュレス社会 水資源	類似点・相違点の区別
	5		Unit 3 Unit 4 Unit 5 Unit 6	山歩き 音楽の効用 オーストラリア 電子書籍と印刷書籍	文脈展開の理解 文の構造理解
	6		Unit 7 Unit 8 Unit 9 Unit 10 Unit 11	睡眠 海外旅行 人物 ジェスチャー 伝記	意味の推測 内容の真意の判断
	7		Unit 12	幸福	意味の推測 内容の真意の判断
2 学 期	9	36	Unit 13 Unit 14 Unit 15	スウェーデンの気候 異文化コミュニケーション 電線地中化	主題をつかむ 文脈を読み解く
	10		Part1 (第1,2章) Part1 (第3,4章) Part1 (第5,6章)	時制・態 助動詞・仮定法 不定詞・動名詞	文法力の向上
	11		Part1 (第7,8章) Part1 (第9,10章) Part1 (第11,12章) Part1 (第13,14章)	分詞、比較 代名詞、関係詞 接続詞、前置詞 主語と動詞の一致、疑問文	文法力の向上
	12		part1 (15,16章)	否定・省略・強調 時制の一致と話法	文法力の向上
3 学 期	1	4	Part2 (17章) Part2 (18章)	語法 (動詞) 語法 (形容詞)	表現力の向上
	2				
	3				

評価	(観点・方法) 定期考査得点及び平常点 (授業への取り組み、提出物) による。
----	---

令和5年度 年間授業計画

東京都立足立西高等学校

科 目	ハングル	2 単位	教科担当 者
対 象	第3 学年		
準教科書	『Check! Can! Do! 韓国語』		
副教材			

目 標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・韓国語に関心を持つことができる。日本語（母語）との共通点や違いを見つけることができる。</li> <li>・学習した文法及び語彙を積極的に使用し、自ら表現（発信）することができる。</li> <li>・簡単な表現は聞き取ることができ、やりとりすることができる。</li> </ul>
-----	---

学期	月	時 間	単 元	内 容	具体的な指導目標
1 学 期	5	26	文字編 Lesson1～4 文法編 Lesson1～2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ハングル/韓国語って何?、自己紹介</li> <li>・基本母音/合成母音</li> <li>・子音①平音/激音/濃音</li> <li>・子音②パッチム</li> <li>・名詞文、名詞文（否定）</li> </ul>	単語を通して文字を教える。単語だけでなく、文法編 L1 に出ている名詞文につけて練習する。
	6		確認テスト 文法編 Lesson3～4 期末試験	<ul style="list-style-type: none"> <li>・こそあど言葉</li> <li>・疑問詞</li> </ul>	文法編 L1 の応用であるため、名詞文を思い出せるように、練習する。
	7		韓国文化体験授業	韓服体験授業（韓国教育院）	最初に実践した自己紹介を実践する。
	8				
2 学 期	9	28	韓国文化クイズ 文法編 Lesson5～6	<ul style="list-style-type: none"> <li>・数字/固有数詞、漢数詞</li> </ul>	文法編 L1 の応用であるため、名詞文を思い出せるように、練習する。
	10		文法編 Lesson7～8	<ul style="list-style-type: none"> <li>・存在詞 1（所有）、2（位置）</li> </ul>	特に位置を表す名詞に慣れるように指導する。
	11		確認テスト 文法編 Lesson9～10	<ul style="list-style-type: none"> <li>・動詞/形容詞の活用、否定形</li> </ul>	活用の仕方に慣れる。
	12		期末試験 1年間の学習のまとめ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・理解度チェック</li> </ul>	これまで教材に出てきた質問に答えられるか確認する。
3 学 期	1	16			
	2				
	3				

評 価	
-----	--

令和5年度 年間授業計画

東京都立足立西高等学校

科目	家庭総合	2単位	教科担当 者
対象	第3学年		
教科書	新 家庭総合 (実教出版)		
副教材	生活学N a v i (実教出版)		

目標	家庭生活の充実向上に図る能力と実践的な態度を育てるとともに、社会の中の自分を常に意識し、家庭科で学んだ知識、技術を応用発展させて課題解決をはかれるようにする。
----	---

学期	月	時間	単元	内 容	具体的な指導目標
1 学 期	4	26	1編 1章 自分らしい生き方と家族	共に生きる家族 家族に関する法律	家族について考える。家族の変化や法律について知る。
	5		2章 子どもとかかわる	子どもを知る 発達のすばらしさ	乳児の成長・発達について学ぶ。
	6		3章 子どもを育てる	子どもの生活 調理実習・保育人形実習 すこやかに育つ環境	子どもの食生活や遊びについて知る。実習を通して知識や技術を身に付ける。子どもに起こる病気や事故について知る。
	7			期末考査 夏休みの課題	家族や子どもについてのレポートをまとめる。
2 学 期	9	28	1編 3章 高齢者とかかわる	加齢に伴う心身の変化 高齢者疑似体験 高齢化と高齢者福祉	高齢者の特徴について学ぶ 高齢者の心と体の変化について理解する。 高齢者との共生社会について考える
	10		2編 3章 住生活を作る	快適な住生活について 住まいの衛生について 住環境（間取り）について	快適で安全な住まいについて考える。快適な住環境や住空間について学ぶ。
	11			住みよい住空間の計画 平面図作成	快適な住空間について考える。 間取りを平面図で表す。
	12			期末考査	
3 学 期	1	16	まとめ	1年間を振り返る	1年間を振り返り、自分の人生について考える。
	2				

評価	(観点、方法) 期末考査、授業プリント、実習への取り組み、課題（レポート・作品）など
----	---

令和5年度 年間授業計画

東京都立足立西高等学校

科目	フードデザイン（自由選択）	2単位	教科担当者
対象	第3学年 選択者		
教科書	フードデザイン cooking & arrangement（教育図書）		
副教材	2022生活学Navi（実教出版）、調理BOOK（実教出版）		

目標	食品、栄養、調理についての知識や技術を習得し、またそれらに先立ち、歴史的、地理的学習を通して、わが国の食生活の現状について認識を深め、自らの食生活を充実、向上させることのできる能力、態度を育てる。
----	--

学期	月	時間	単元	内容	具体的な指導内容
1 学 期	4	26	オリエンテーション 1章 食事の意義と役割 2章 栄養素の働き	オリエンテーション ・ 2年で学んだ栄養学の基礎の復習、確認	授業の進め方を説明する。 フードデザインを学んでいく基礎となる栄養学のまとめをする。
	5		3章 食品の特徴	・ 食品の特徴と性質 糖類、牛乳と乳製品	毎回実験を行いながら体験的に食品の特徴と性質を学習する。
	6		3章 食品の特徴	・ 食品の特徴と性質 卵、小麦粉、寒天、ゼラチン	毎回実験を行いながら体験的に食品の特徴と性質を学習する。
	7		3章 食品の特徴	・ 献立について	夏季休業中の課題について説明する。
2 学 期	9	28	4章 調理の基本	・ 調理の目的、食べ物のおいしさ、調理器具と操作、食事のマナー	食事のマナーや調理の目的など、調理実習に向けて基本的なことを学ぶ。
	10		4章 調理の基本	・ 中国料理、西洋料理	さまざまな調理方法を、実習を通して学習する。基本的な各種料理の基本を学ぶ。
	11		4章 調理の基本	・ 日本料理、料理様式と献立	さまざまな調理方法を、実習を通して学習する。基本的な各種料理の基本を学ぶ。
	12		4章 調理の基本	・ 世界の料理について	冬季休業中の課題について説明する。
3 学 期	1	16	1年間のまとめ	・ 冬季休業中の課題発表会 ・ 世界の家庭料理 ・ 1年間の授業を振り返って	食は生活と密着したものであり、地域やライフスタイルに合わせて多様な文化を作り上げてきたことを知る。

評価	(観点・方法) 授業内確認テスト、調理実験・実習、実習レポート、授業プリント、長期休業中の課題、授業への取り組み、出欠状況など
----	--

令和5年度 年間授業計画

東京都立足立西高等学校

科目	服飾手芸（自由選択）	2単位	教科担当者
対象	第3学年 選択者		
教科書	なし		
副教材	なし		

目標	被服構成の基礎を学び、基礎的な縫製、手芸の技術を身に付ける
----	-------------------------------

学期	月	時間	単 元	内 容	具体的な指導目標
1 学 期	4	26	和服（浴衣）の製作	浴衣の製作 ・裁断、下衣作り	和服の構成を理解する。 平面構成を理解する。
	5		和服（浴衣）の製作	・下衣作り	ミシン、手縫いの習得
	6		和服（浴衣）の製作	・上衣作り	ミシン、手縫いの習得
	7		和服（浴衣）の製作	・上衣作り	ミシン、手縫いの習得
2 学 期	9	28	和服（浴衣）の製作	・仕上げ、着装、レポート記入	アイロンかけや着装の習得
	10		刺繍作品の製作	・刺繍の基礎	刺繍の構成を理解する。 基礎技術を身につける。
	11		編み物の基礎	・編み物の基礎	編み物の構成を理解する。 基礎技術を身につける。
	12		編み物の自由製作	・自由作品の製作	編み物を応用して作品を製作する
3 学 期	1	16	染色作品の製作	染色作品の製作	バンドナに図柄をデザインし、染色する
	2				
	3				

評価	(観点・方法) 作品への取り組み、技能の習得による作品への成果などを総合的に評価する。
----	--

令和5年度 年間授業計画

東京都立足立西高等学校

科目	子どもの発達と保育（自由選択）	2単位	教科担当者
対象	第3学年 選択者		
教科書	子どもの発達と保育 育つ・育てる・育ち合う（教育図書）		
副教材	なし		

目標	乳幼児の発達、生活と保育などに関する知識と技術を習得し、子どもの健全な成長を図る態度と能力を育てる。実習・実験を通してより具体的に学習していく。
----	--

学期	月	時間	単元	内容	具体的な指導目標
1 学 期	4	26	保育を学ぶにあたって 保育者の役割	保育者の役割とは 保育園実習の事前準備	ビデオ視聴などを通して、保育者の役割や保育園で行う実習について理解する。
	5		指導の原理	遊びの中で育つもの	絵本の読み聞かせ、絵本の紹介、絵本づくりを通して、絵本遊びの重要性を知る。
	6		指導の原理	保育園実習準備	エプロンにアップリケをつけ、ミシンと手縫いの技術を習得する。また、歌、手遊びを通してピアノを弾く技術を習得する。
	7		指導の原理	「保育園実習」準備	夏休みに保育園実習を行い、実践的に教わり、子どもとのかかわりを身につける。
2 学 期	9	28	指導の原理	遊びの分類	おもちゃづくりを通して、工作の遊びの仕方を知る。
	10		子どもの生活	乳幼児の生活、子どもの衣服と衣生活	乳幼児の衣服の特徴を知り、簡単な衣服を作る。
	11		子どもの生活	子どもの遊びと児童文化財	児童文化財を知り、紙芝居や人形劇の製作をする。
	12		子どもの生活	子どもの遊びと児童文化財	児童文化財を知り、紙芝居や人形劇の製作をする。
3 学 期	1	16	栄養と食事	乳幼児期の栄養と食物 1年間の授業を振り返って	子どもの「おやつ」の調理実習を通して、調理技術を身につける。 1年間を振り返り、今後の進路に役立てる。

評価	（観点・方法） 授業への積極的な取り組み、提出物、夏休み保育体験の参加、夏・秋祭りの手伝い、作品、レポートなどを総合的に評価する
----	---

令和5年度 年間授業計画

東京都立足立西高等学校

科目	情報の科学（自由選択）	2単位	教科担当者
対象	第3学年 選択者		
教科書	情報の科学（東京書籍）		
副教材	新「情報」活用テキスト（P検） プログラミング入門 J a v a S c r i p t 編（数研出版）		

目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ P 検の受験を通して、コンピュータの基礎知識や Word・Excel の活用能力を身に付ける。</li> <li>・ アルゴリズムとプログラミングについて学び、プログラミング的思考を身に付ける。</li> </ul>
----	---

学期	月	時間	単元	内容	具体的な指導目標
1 学 期	4	26	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ コンピュータの仕組み</li> <li>・ Word 文書作成練習</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 文字・画像・音のデジタル化</li> <li>・ P 検 4 ～ 準 2 級 出 題 範囲の内容の演習</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 具体的な事例を扱う</li> <li>・ OS・ソフトウェアのバージョンの違いに注意する</li> </ul>
	5		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 情報通信ネットワーク</li> <li>・ データベース</li> <li>・ Excel 処理練習</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ネットワークの構成</li> <li>・ P 検 4 ～ 準 2 級 出 題 範囲の内容の演習</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ インターネットの理解</li> <li>・ 練習問題を多く取り扱う</li> </ul>
	6		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 問題解決の考え方と手順</li> <li>・ タブリング・Word、Excel、P 検試験にチャレンジ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 問題解決のプロセス・分析・解決方法</li> <li>・ P 検実技テストにチャレンジ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 具体的な事例を扱う</li> <li>・ 模擬試験・P 検にチャレンジ</li> </ul>
	7				
2 学 期	9	28	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ モデル化とシミュレーション</li> <li>・ 画像処理の基礎知識</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 問題解決のプロセス・分析・解決方法</li> <li>・ 画像処理の操作方法と実習</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 実践を通して学習させる</li> <li>・ 肖像権・個人情報などに注意する</li> </ul>
	10				
	11		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 情報社会の科学的な理解</li> <li>・ プログラミングの基礎知識</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 人とのかかわり、安全、モラル</li> <li>・ プログラミングの理解と作成</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 統合開発環境を用いて、プログラムを作る</li> <li>・ 練習問題を多く取り扱う</li> </ul>
	12				
3 学 期	1	16	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 総復習</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 復習</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ これまで学習した内容を再確認する。</li> </ul>
	2				
	3				

評価	<p>（観点・方法） 授業中の様子や課題、確認テスト等をもとに評価をする</p>
----	--

# 令和5年度 総合的な探究の時間 年間授業計画

(3学年)

1単位時間の時間(50)分

学期	月	指導項目	指導内容	評価計画	配当時間
1	4	オリエンテーション 進路ガイダンス 課題研究	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「総合的な探究の時間」の年間学習計画や方針を理解させる。</li> <li>・疑問のを見つけ方および疑問を基にした課題設定について理解させる。</li> <li>・進路や生き方に関する探究課題を設定させる。</li> <li>・長期休業に行うことの助言・指導。</li> <li>・進路希望を明確にさせる。</li> <li>・進路ガイダンスによる指導。</li> </ul>	探究課題への取り組み状況及び課題の理解度・完成度について、主体的な態度及び、思考力・判断力・表現力を総合的に評価する。	12
	5				
	6				
	7				
2	9	課題研究	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各講座で指導・助言を行う。</li> <li>・レポート作成についての指導を行い、理解させる。</li> </ul>	探究課題への取り組み状況及び課題の理解度・完成度について、主体的な態度及び、思考力・判断力・表現力を総合的に評価する。	15
	10				
	11				
	12				
3	1	研究発表	<ul style="list-style-type: none"> <li>・成果発表を行う。</li> <li>・レポートの作成を行う。</li> <li>・総合的な探究の時間の振り返りを行う。</li> <li>・3年間の学習成果の振り返りを行う。</li> </ul>	探究課題への取り組み状況及び課題の理解度・完成度について、主体的な態度及び、思考力・判断力・表現力を総合的に評価する。	8
	2				
	3				
配当時間数の合計					35